

## 大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)(案)【抜粋】

旧 No.	No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
-	S2-131	敷地地質	cf系	第804回会合	2019年11月29日	cf-3断層について活動性が否定されることは理解した。cf断層系の活動性評価の代表断層としてcf-3断層を選定していることについて、説明性向上の観点から、見掛けの水平最大変位量だけでなく、その他の諸元も踏まえ総合的に整理し説明すること。	今後ご説明予定
-	S2-132	敷地地質	dF系	第804回会合	2019年11月29日	dF-a断層を活動性評価の代表断層とする考え方は理解した。また、dF断層系については、dF-2断層が上載地層である大畑層に変位・変形を与えていないことも確認している。そのうえで、dF-a断層の活動性評価に関して、大畑層基底面にdF-a断層の変位が認められないとするデータ、大畑層内の断層延長部に断層を示唆する性状が認められないとするデータを整理し、ボーリングコア写真等とともに説明すること。	今後ご説明予定
-	S2-133	敷地地質	dF系	第804回会合	2019年11月29日	dF断層系の分布に関して、敷地西側の海域で南北系の走向に変化しているところもdF断層系としている考え方、根拠を整理し説明すること。	今後ご説明予定
-	S2-134	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第804回会合	2019年11月29日	「ps系弱面はシーム沿いに分布する」と記載されているが、ps系弱面はシームそのものを利用して形成されたという事実を踏まえ、適切な表現にすること。	今後ご説明予定
-	S2-135	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第804回会合	2019年11月29日	pd系弱面について、M1面段丘堆積物との関係を直接確認できないものについても後期更新世に動いたとする根拠、及び変位を伴う不連続面のうち低角のもののみをpd系弱面とする根拠を整理し説明すること。	今後ご説明予定
-	S2-136	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第804回会合	2019年11月29日	pd系弱面がシームの層準付近の成層構造が発達する部分に限定的に分布していた低角の変位を伴う不連続面を利用して形成されたとする理由及び根拠を、以下の内容を含め説明すること。 ・成層構造が発達する部分の認定プロセス及び認定根拠。 ・成層構造が発達する部分のみに低角の変位を伴う不連続面が多く分布する理由及び根拠。	今後ご説明予定
-	S2-137	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第804回会合	2019年11月29日	変状は基盤岩が風化した体積膨張を主因としているが、これに対してps系弱面とpd系弱面を議論のベースとする理由を、以下の内容を含め説明すること。 ・ps系弱面により逆断層センスの変位が生じる理由と膨張との関係。 ・pd系弱面がps系弱面の上盤に少なく、下盤に多い理由。 ・pd系弱面により生じているせん断構造と、強風化岩盤の変形構造との関係。 ・強風化岩盤の体積膨張と変状による変形との関係。	今後ご説明予定
-	S2-138	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第804回会合	2019年11月29日	以下の内容を含めて風化と変状の因果関係を整理・考察し説明すること。 ・Ts-5法面やTs-6法面のように、強風化部とシームの同じ条件があるにも関わらず、変状の有無に違いがある理由。 ・Ts-1～3トレンチのように、近接した位置にあるにも関わらず風化の程度に差がある理由。 ・岩盤が強風化し膨張して変状が生じたという解釈に至った考え方。	今後ご説明予定
-	S2-139	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第804回会合	2019年11月29日	強風化岩盤が膨張したという説明に対しては、直接的な根拠を重視する。膨張による岩盤の体積増加の類似事例調査等も踏まえ、薄片観察、地質観察等によって強風化岩盤が膨張した痕跡の有無を確認のうえ改めて説明すること。	今後ご説明予定

コメントNo.の凡例 (1列目)\_H: ヒアリングでのコメント, S: 審査会合及び現地調査でのコメント

(2列目)\_1: 敷地周辺地質, 2: 敷地地質, 3: 地下構造, 4: 地震, 5: 津波, 6: 火山, 7: 地盤・斜面  
注) 項目のうち「第四系中の変状」(第700回審査会合までの記載)については「後期更新世に生じた変状」に改称。